

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大学名	神戸大学
タイプ	A-I
構想名	東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	
<p>本プログラムは、神戸大学国際協力研究科の特性と実績を基に提案され、リスク・マネジメント専門家育成に焦点を当て、現在東アジアで求められている人材を養成し、他大学に類の無い独創的なプログラムとなることが期待できる。</p> <p>ダブル・ディグリー・プログラムについては、これまでも多数の海外の大学と実施してきた経験があり、本プログラムでも単位の相互認定をはじめ、着実に制度運営が行われていることは評価できる。</p> <p>平成24年度のプログラム修了生を中心に、同窓会の発足に向けて準備が行われており、修了生・参加生の組織化が進められている。</p> <p>本プログラムに関わる日中韓3大学の部局は、いずれも英語大学院もしくは英語コース・英語プログラムを有する大学院であり、留学生の受入などの実績が豊富であるとともに、本プログラム実施以前からダブル・ディグリー・プログラムの実績を有することから、本プログラム教育を担当する教員の国際的教授能力は担保されていると言える。</p> <p>また、幅広いリスク・マネジメントに関心のある学生が対象ということもあり、リスク・マネジメント専門家の定義、定義に基づく人材育成の目標、更にその目標をどのような教育プログラムによって構成するかについて必ずしも明確ではなく、現行のカリキュラム構成も十分に構造化されているとは言い難い。今後、カリキュラムの内容も含め、リスク・マネジメント専門家を養成していく上で、どのような取組が必要か、日中韓3大学間で発展的な議論を継続して進めていくことが望まれる。</p>	